

令和7年度 第一回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年5月12日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 鈴木幸彦、犬居和賀代、林容子、佐藤祐輔、海老名俊樹、鈴木麻里、前島杏里
- 4 欠席委員なし
- 5 オルガニザ- 袴田唯之(南陽協働センター)
- 6 学 校 結城知則(校長)、大石智香子(教頭)、鈴木由香(CS担当教員)、
内田由佳(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 9 会長及び副会長の選出

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、佐藤祐輔委員が会長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された佐藤委員から、海老名委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木麻里委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 芳川小学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止等の基本方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に関する意見書について
- (4) その他

12 会議記録

司会の大石から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

13 熟議

- (1) 芳川小学校運営の基本方針について

議長の指示により、令和6年度末に得た承認についての確認をした。新しい校長になったことに加え、新委員2名も加わったため、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。

・1年生の給食のサポートボランティアをした。先生方が笑顔で給食の時間を指導していたことが印象的だった。子供と職員の幸せを見た気がする。

主体的に動けるところまで、仕掛けや誘導を工夫してほしい。(麻里委員)

・下校の手伝いをして、1年生の最初は大変だと痛感したが、今日下校の様子を参観して、子供と職員、そして関わる人も幸せであるとよい。(犬居委員)

・主体性とわがままが混同しないようになってほしい。厳しさも必要。(海老名委員)

・登下校の危険事例に遭遇した時には、その子供に注意をするが、どの程度まですればいいか、受け止める方が保護者や子供によって違う。子供と仲良くなることを意識し、そのためにもまずあいさつは重要。(幸彦委員)

・主体性は中学でも求められている。「夢を高く」の部分について、我が子の場合ではあるが、6年になってからずっと夢ばかりを書かされることに困惑していた。(前島委員)

・将来のことなどは、高校生でも考えるのが難しい。夢や目標は好きな教科から出発して、そこから発展させるのが良い。小学生にとって、具体的な職業を書くのは難しいのでは。(海老名委員)

・以前 youtuber のふみやさんの講座があったが、そのときの言葉の中に、「なりたい自分に向けて逆算する。無駄かどうかは後でわかるので、何でもチャレンジし、頑張ってみるとよい。」とあったが、強く心に残っている。(麻里委員)

・大雨の日の登校の様子を見て、子供たちの懸命さに心を打たれた。自己肯定感があると感じる子に出会ったが、子供の夢に沿って、子供の声を聴くことが第一歩。また、交通事故のニュースが多くあるが、命にかかわる事項は繰り返し子供たちに伝えていくことが大切。登下校の見守りはありがたい。主体性について、現代では教師は仕掛けをつくるのも大変なのではないか。仕事のだご味ではあるが、共に活動できるとよい。(林委員)

・登下校時、他人の子にどこまで言ってよいか悩む。その子のために思えば言えると思いたい。夢については、〇〇という職業になるなら、逆算するために足取りをしたら分かりやすいと思う。例としては、先生になるのなら、小→中→高→大で勉強し、国家資格を取得する必要がある、など具体的な説明等はもう一步踏み込んで具体的に考えるための効果があるのでは。主体性については、登校中にある高学年の子が、日本語がまだうまく話せない子で怪我をした子を背負って、周りの子は二人の持ち物をもって登校した場面に関わったが、これこそが主体性の体现だと感じた。今年度からは、再び「学校を知る」という原点に立ち返り、ボランティアのいいサイクルになっていくとよい。(佐藤会長)

令和6年度末の承認を確認した。引継ぎをしっかりと行っていく。

(2) いじめ防止等の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、いじめ防止等の基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

・いじめを知らせてきた子供の安全を確保することは、大変重要だ。重大案件の当事者は、基本的に自ら話さない。子供と教師との信頼関係にもよる。(海老名委員)

・過去にボランティアが声掛けをしたときに、その児童がづらい現状を話してくれたことがある。どこまで関わればよいか難しいが、声掛けは一助となる。子供間のいじめだけでなく、先生方と保護者等のいじめ以外の問題も、担任だけでなく、組織で対応できているか。(麻里委員)

・全保護者の集まる場で、保護者からの行き過ぎたクレーム等に対し、学校として毅然と対応する、という内容の発表に感動した。また、いじめに関しては信頼する先生が担任に限らず校内にいることはとてもよい。(前島委員)

・家庭に問題のある子ども多いと感じる。登下校中に声をかけて、そこで家庭環境がうかがわれる。地域の者との関係構築も助力となるので、励んでいきたい。そういう体制ができればよいと思う。(幸彦委員)

・年間計画の中にピンクシャツデーを盛り込んでくれてあるのはうれしく思う。前年度は、子供たちが何の日なのか考える好機になったと思う。(林委員)

・例えば、けんかなどがあったらどうするのか。即効性のある対策をとるのか。(佐藤会長)

・それは程度によるのでは。打つべき先手はパターンにもよるのでは。(海老名委員)

・先日、いじめかもしれない情報を先生に報告したが、一瞬で対応してくれ、その機動力に感心した。(前島委員)

(3) 夢育やらまいか事業に関する意見書について

議長の指示により、学校から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に関する意見書について、説明があり、委員からは、以下のような発言があった。

・学校環境整備について、赤いポールをすぐ修理してくれた。屋外トイレも修理してくれてありがたい。逆上がり補助器の故障を今後修理してほしい。(佐藤会長)

(4) その他

・東館の外階段の避難用の扉が開いているのが気になったが、どこかで話し合いができるとよい。(海老名委員)

・さすまたの場所の共有は職員以外にもなされているとよい。(佐藤会長)

14 報告

- ・ほうがわクスノキ応援団の報告・・・学校支援コーディネーターから、資料に基づき報告があった。
- ・学校から卒業アルバムについての説明あった。

15 連絡

・令和7年度第2回の協議会は、2025年7月7日(月)午後1時30分からCSルームで開催する旨の報告があった。

・次回議長は、海老名委員が務めると申し出、全員異議なく承認した。